

知っていますか？雇止めの深刻な現実

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2010年10月
No. 33
発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL
090-9121-0602

●低い有効求人倍率

厚生労働省が発表した有効求人倍率（8月分）は、0.54倍となっており、求職者数に対して半分の人しか、職にありつけない状況となっています。

●雇止め 生活困難

連合総研が行った「失業者の暮らしと就職活動に関するアンケート調査結果」（09年10月）によると、失業者一人あたりの応募書類提出企業数7.2社に対し、面接企業数は約3割の2.3社にとどまっています。面接を受けていない人は約半数を占めており、面接ですら困難な状況が続く実態があるとのことでした。

また約半数の人たちが貯蓄額百万を下回っており、雇止め 生活困難となる状況が明らかとなつていきます。

●雇用の継続を！

清水事業所では、昨年の不景気において、多くの派遣社員が雇止めとなり、その後、生産量の増減に伴い、派遣社員等の増減に対応しています。しかし、3ヶ月程度の細かい雇用などをもってのほかに、一企業として、失業した人たちの深刻な状況を考慮して、雇用の継続を強く求めます。

2010年 日立アプライアンス 労組定期大会への 質問と回答

①各月の最高残業時間は？
約200時間

②残業時間40h以上60h未満/月？
約550名

残業時間60h以上80h未満/月？
約300名

残業時間80h以上/月は？
約280名

③精神疾患休業者数は？
月俸者含め 月平均24名

④処遇制度の調整給受給者数は？
6月現在受給者179名（協定非組合）
昨年249名から79名減少
調整給平均額15,229円

⑤派遣社員・非正社員の人数は？

派遣社員総数（6/末）	1,680名
製造派遣	1,208名
その他	472名
派遣以外の非正社員	824名
シニア社員	278名
嘱託	101名
臨時員	348名

⑥過去1年間に派遣から日立アプライアンスの正社員になった人数は？
2009/8以降 6名